新興市場経済を考える

BRICsは今後も世界経済をリードできるか

ブラジル、ロシア、インド、中国（BRICs）は急速な経済成長を遂げている。だが、経済活動に変化を来している事実も無視できない。「世界経済の動向」は今後どこへ向かうのか、一橋大学は6月下旬にこうした問題を考えるフォーラムを朝内で開催。第一線の研究者が比較経済システム論的な観点から議論を深めた。

BRICsは世界経済の過去と現在

世界の多くが元気な成長を遂げているが、中国新興国の成長がとは違った課題を生む。世界的な市場構造の変化に伴い、中産階級が増大し、国際貿易の規模も拡大している。この中で、BRICsの経済成長の持続性や安定性について議論を行った。

主催：一橋大学・一橋大学経済研究所
共催：比較経済体制学会 一橋大学経済研究所経済制度研究センター 一橋大学経済研究所ロシア研究センター

詳しくは、一橋大学政策フォーラムHPをご覧ください。http://www.hit-u.ac.jp/kenkyu/project/forum.html